たかみくらやま

「東播支部歴史ウォーク 高 御 位 山 (播磨富士)登山」 ~ 歴史と自然を満喫 ~

東播支部事務局長 細貝 寛徳

東播支部は、石田支部長以下 12 名が令和 7 年 11 月 8 日(土) 午前 9 時 45 分、兵庫県加古川市志方町・成井登山口駐車場に集合し、高御位山登山を実施しました。

標高三百四メートルの高御位山は「播磨富士」と称され、東播磨丘陵地の高御位山系は「播磨アルプス」とも呼ばれます。全般に岩場が多く、濡れた路面は滑りやすいため注意を要しますが、成井登山ルートは初心者にも比較的登りやすく、安心して歩むことのできる登山道です。約25年前に整備され、「一丁」から「十八丁」までの石柱と石段が設けられ、途中には休憩用ベンチも配置されています。今回の参加者には七十歳を超える方も多く、歩調を合わせ、一歩一歩着実に登ることを心掛けました。

【高御位山】頂上からの素晴らしい眺望



山頂付近には、印南郡で最も早く神を祀ったと伝わる高御位神社があります。主祭神は大国主命(おおくにぬしのみこと)を祀る高御位大明神で、古文書『播磨国印南郡高御位山略縁記』には神がこの地に降臨した旨が記されています。この地はまさしく加古川市を代表する霊験あらたかな名所です。さらに、鎌倉時代末期から南北朝時代の地誌『峰相記』には、高御位神社の神と生石神社(別名:石の宝殿)の女神が夫婦であるとの記述も記されています。

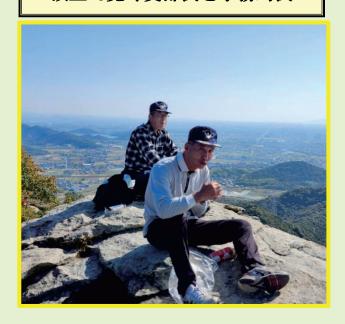
【パワースポット】 高御位山神社にての集合写真



参拝後は山頂の岩稜に上がり、明石海峡大橋、関西国際空港、六甲山、 さらに四国方面までを一望できる眺望を堪能しました。眼下には紅葉が始 まり、真紅の木々が点在する秋の風情を楽しむことができました。

なお、10 月末に近隣でクマの出没情報もありましたが、会員の中には熊 よけの鈴や警笛を携行するなど十分な安全対策を講じ、幸い何事もなく下 山し、無事に解散しました。参加者の表情は爽やかで清々しく、歴史と自 然に触れた充実の一日となりました。

頂上で寛ぐ支部長と事務局長



飛翔の碑



下山後の参加者による集合写真

